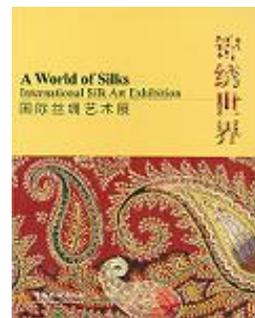


中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信																																									
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与																																									
【年度計画】 (4館共通) 1) 国内の博物館等で開催する展覧会等へ収蔵品を貸与する。 (東京国立博物館・奈良国立博物館) 1) 国内の公私立博物館と考古資料の相互貸借を実施する。 (東京国立博物館) 1) 長崎歴史文化博物館の平常展示のため、引き続き長期貸与する。 2) 海外の美術館・博物館等で開催する展覧会へ貸与する(海外交流展出品作品を含む)。																																										
担当部課	学芸研究部列品管理課	事業責任者	列品管理課長 救仁郷 秀明																																							
【実績・成果】 (4館共通) 1) 国内の博物館等103機関に750件の作品を貸与した。 (東京国立博物館・奈良国立博物館) 1) 岡山県立博物館、鳥取県立博物館と協力して、考古資料の相互貸借を実施した。 (東京国立博物館) 1) 長崎歴史文化博物館の平常展示のため、年度を越えた長期貸与を実施した。 2) 海外の博物館等4機関に34件の作品を貸与した。 海外交流展として2機関に162件を出品した。																																										
【補足事項】 (東京国立博物館・奈良国立博物館) 1) 東京国立博物館では、考古資料相互貸借事業経費により、岡山県立博物館に53件、鳥取県立博物館に36件を貸与して、岡山県立博物館から10件、鳥取県立博物館から11件を借用した。借用品により、特集「吉備・伯耆因幡の古墳文化ー中国地方東部の歴史的特質ー」を開催した。 (東京国立博物館) 2) 中華人民共和国国立絲綢博物館で開催された特別展「絹の世界」には、当館から特別協力として希少な古代裂を含む28件の文化財を貸与し、幹部1名が開会式に列席し、作品展示・撤収・輸送随伴に延べ4名の人員を派遣した。 2) 海外交流展 ・ 中国国家博物館 「15-19世紀日中韓絵画精品展」 出品件数：18件 ・ 台湾国立故宮博物院南部院区 「日本美術の粹 東京・九州国立博物館精品展」 出品件数：144件																																										
<table border="1"> <tr> <td>【定量的評価】項目</td> <td>28年度実績</td> <td>目標値</td> <td>評定</td> <td>経年変化</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>貸与件数</td> <td>946件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3">変 化</td> <td>1,295</td> <td>1,137</td> <td>1,130</td> <td>991</td> </tr> <tr> <td>うち国内の貸与件数</td> <td>750件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1,252</td> <td>1,086</td> <td>1,059</td> <td>909</td> </tr> <tr> <td>うち国外の貸与件数</td> <td>196件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>43</td> <td>51</td> <td>71</td> <td>82</td> </tr> </table>									【定量的評価】項目	28年度実績	目標値	評定	経年変化	24	25	26	27	貸与件数	946件	-	-	変 化	1,295	1,137	1,130	991	うち国内の貸与件数	750件	-	-	1,252	1,086	1,059	909	うち国外の貸与件数	196件	-	-	43	51	71	82
【定量的評価】項目	28年度実績	目標値	評定	経年変化	24	25	26	27																																		
貸与件数	946件	-	-	変 化	1,295	1,137	1,130	991																																		
うち国内の貸与件数	750件	-	-		1,252	1,086	1,059	909																																		
うち国外の貸与件数	196件	-	-		43	51	71	82																																		
【年度計画に対する総合評価】 評定：B			【判定根拠、課題と対応】 国内外の博物館等109機関に946件の作品の貸与を行った。展示室改修にともない27年度に停止していた考古資料貸与業務を再開するなど、例年通りの貸与業務を行うことができた。台湾国立故宮博物院南部院区における海外交流展には、平成26年の特別展「台北 國立故宮博物院ー神品至宝ー」の返礼として、国宝・重要文化財を含む多数の文化財を出品した。																																							
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。																																										
【中期計画に対する評価】 評定：B			【判定根拠、課題と対応】 中期計画に基づき、岡山県立博物館や中華人民共和国国立絲綢博物館など国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、例年通りの規模で貸与を実施することができた。貸与件数自体は近年減少傾向にあるが、次年度以降も内外の重要な展覧会に有意義な貸与を実施し、外部の博物館活動に対して重要な寄与を果たしてゆく予定である。																																							



国立絲綢博物館
特別展「絹の世界」図録

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】 (4館共通) 1) 国内の博物館等で開催する展覧会等へ収蔵品を貸与する。								
担当部課	学芸部	事業責任者	列品管理室長 宮川禎一					
【実績・成果】 (4館共通) 1) 機関に対し367件の館蔵品・寄託品貸与を行った。 館蔵品の貸与件数：166件 寄託品の貸与件数：201件 計：367件 ○28年度も継続してウェブサイトにて「貸出作品リスト」の公開を行った。								
【補足事項】 (4館共通) 1) 収蔵品の貸与に際しては、貸出先施設の保管体制、警備体制、虫害対策等を総合的に判断しながら先方の要望に応じた。東京国立博物館の「禅」展に国宝4件、重文22件を含む42件、九州国立博物館の「鳥獣戯画」展に国宝6件、重文23件を含む42件、長崎歴史博物館の「没後150年 坂本龍馬」展に重文7件を含む41件などを貸与した。								
								
長崎歴史文化博物館「没後150年 坂本龍馬」展貸与品： 重文「絵画・書跡貼交屏風」 館蔵品								
【定量的評価】項目	28年度実績	目標値	評定	経 年 変 化	24	25	26	27
貸与件数	367件	-	-		304	626	582	303
うち国内の貸与件数	365件	-	-		301	623	570	293
うち国外の貸与件数	2件	-	-	3	3	12	10	
【年度計画に対する総合評価】 評定：B	【判定根拠、課題と対応】 収蔵品の保存状況と貸出先のコンディションを勘案しながら国内の博物館等に対し、367件の貸与を行い、可能な範囲で要請に応じた。							
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】 評定：B	【判定根拠、課題と対応】 収蔵品の保管・展示状況と貸出先のコンディションを勘案しながら先方の要請に適切に対応することができた。次年度以降も引き続き、要請に対し適切に貸与を行っていく予定である。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信																																									
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与																																									
【年度計画】 (4館共通) 1) 国内の博物館等で開催する展覧会等へ収蔵品を貸与する。 (東京国立博物館・奈良国立博物館) 1) 国内の公私立博物館と考古資料の相互貸借を実施する。																																										
担当部課	学芸部列品室	事業責任者	室長 吉澤 悟																																							
【実績・成果】 (4館共通) 1) 収蔵品と寄託品を国内外あわせて34の機関に、計165件貸し出した。 (東京国立博物館・奈良国立博物館) 1) 福岡市博物館、福岡市埋蔵文化財センター、遊佐町教育委員会との間で考古資料の相互貸借事業を実施した。																																										
【補足事項】 (4館共通) 1) 収蔵品の貸与 ○貸与先34件の内訳 ・国立4件、公立17件、私立12件、海外1件 ○貸与作品165件の内訳 ・国宝16件(館蔵品7件、寄託品9件) ・重要文化財50件(館蔵品17件、寄託品33件) ・その他99件(館蔵品60件、寄託品39件) ・貸与した館蔵品84件の内訳 (絵画38件、彫刻5件、書跡5件、工芸6件、考古30件) ・貸与した寄託品81件の内訳 (絵画37件、彫刻11件、書跡11件、工芸19件、考古3件) (奈良国立博物館) 1) 相互貸借事業における貸与・借用品数 ・福岡市博物館、福岡市埋蔵文化財センター(貸与品：館蔵品10件、借用品：8件) ・遊佐町教育委員会(貸与品：館蔵品1件、借用品：4件)																																										
<table border="1"> <tr> <td>【定量的評価】項目</td> <td>28年度実績</td> <td>目標値</td> <td>評定</td> <td>経年変化</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>貸与件数</td> <td>165件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3"></td> <td>102</td> <td>135</td> <td>149</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>うち国内の貸与件数</td> <td>161件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>100</td> <td>135</td> <td>149</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>うち国外の貸与件数</td> <td>4件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> </table>									【定量的評価】項目	28年度実績	目標値	評定	経年変化	24	25	26	27	貸与件数	165件	-	-		102	135	149	145	うち国内の貸与件数	161件	-	-	100	135	149	137	うち国外の貸与件数	4件	-	-	2	0	0	8
【定量的評価】項目	28年度実績	目標値	評定	経年変化	24	25	26	27																																		
貸与件数	165件	-	-		102	135	149	145																																		
うち国内の貸与件数	161件	-	-		100	135	149	137																																		
うち国外の貸与件数	4件	-	-		2	0	0	8																																		
【年度計画に対する総合評価】 評定：B			【判定根拠、課題と対応】 計画通り貸与申請に対して慎重かつ積極的に対応することで、国内外の展覧会に協力することができた。貸与件数も例年に並んで100件を超える貸与を行った。また、28年度も考古相互貸借事業を実施し、地域を結ぶ文化財公開の実績を作ることができた。																																							
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。																																										
【中期計画に対する評価】 評定：B			【判定根拠、課題と対応】 中期計画にもとづき、貸与申請に対しては慎重かつ可能な限り希望に応えられるよう対処した。文化財の公開と活用に積極的に貢献でき、中期計画の進展は順調であったと評価される。																																							



貸与品：重要文化財
紙本著色絵因果経断簡 卷第二上 (六十二行)
館蔵品

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】 (4館共通) 1) 国内の博物館等で開催する展覧会等へ収蔵品を貸与する。								
担当部課	学芸部文化財課	事業責任者	課長 富坂 賢					
【実績・成果】 1) 国内 28機関・海外 2機関に収蔵品及び寄託品を貸与した。 (機関数は延べ数。東京国立博物館からの長期管理換品を含む。)								
【補足事項】 (九州国立博物館) 1) 国内の貸与先機関は、下記のとおりである。								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国及び国立博物館 文化庁、東京国立博物館、奈良国立博物館 ・ 地方公共団体及び公立博物館・美術館 (福岡県内) 九州歴史資料館、甘木歴史資料館、伊都国歴史博物館、小郡市埋蔵文化財センター、求菩提資料館 (福岡県外) 東京都江戸東京博物館、荒神谷博物館、彦根城博物館、佐賀県立博物館、佐賀県立名護屋城博物館、佐賀県立九州陶磁文化館、都城島津邸、浦添市美術館、京都府京都文化博物館 ・ 私立博物館・美術館及び私立団体 公益財団法人古都大宰府保存協会大宰府展示館、MIHO MUSEUM、あべのハルカス美術館、泉屋博古館、サントリー美術館 								
 <p style="text-align: right;">国立故宫博物院南部院区 「日本美術の粋 東京・九州国立博物館精品展」出品 国宝 太刀 (銘来国光)</p>								
○海外の貸与先機関は、下記のとおりである。								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大韓民国釜山市福泉博物館、国立故宫博物院南部院区 								
【定量的評価】項目	28年度実績	目標値	評価	経 年 変 化	24	25	26	27
貸与件数	83件	-	-		113	143	101	90
うち国内の貸与件数	72件	-	-		105	117	89	88
うち国外の貸与件数	11件	-	-		8	26	12	2
【年度計画に対する総合評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 公私立の博物館等の要請に対し、適切に貸与を実施した。							
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 中期計画に沿って、適切に貸与を実施し、公私立の博物館等の展示の充実に寄与できた。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】 (4館共通) 1) 公私立の博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を行う。 (東京国立博物館) 1) 新規貸与館に対する環境調査は、東京文化財研究所と協力して指導助言を行う。								
担当部課	学芸研究部	事業責任者	学芸研究部長 富田 淳 総務部長 松本 伸之					
【実績・成果】 (4館共通) 1) 公私立博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等に対し、120件の援助・助言を行った。 ・文化庁、地方公共団体等の文化財関係事業に関する助言・協力 (30件) ・展覧会の開催、運営に関する援助・助言 (9件) ・講演や査読での協力 (16件) ・有形文化財の管理・保存に関する助言・指導 (35件) ・博物館の運営・事業・環境に関する援助・助言 (30件) (東京国立博物館) 1) 新規貸与館に対する環境調査を実施し、東京文化財研究所と協力して指導助言を行った。								
【補足事項】 (4館共通) ・文化庁、地方公共団体等の文化財関係事業に関する助言・協力 文化庁 (文化審議会専門委員他)、愛知県文化財保護審議会、流山市教育委員会、静岡県文化財保護審議会委員他 ・展覧会の開催、運営に関する援助・助言 文化庁、国際交流基金、パリ装飾芸術美術館、国立歴史民俗博物館、神戸市立博物館、名古屋ボストン美術館他 ・講演や査読での協力 東京国立近代美術館、国立民族学博物館、静岡県立美術館、大和文華館、ユネスコ他 ・有形文化財の管理・保存に関する助言・指導 丹青研究所、韓国国立中央博物館、大英博物館、練馬区牧野記念庭園記念館、仙台市立博物館、杉原千畝記念館他 ・博物館の運営・事業・環境に関する援助・助言 東京国立近代美術館、国立新美術館、ルーブル美術館、京都鉄道博物館、江戸東京博物館他 (東京国立博物館) 1) 環境調査を実施した新規貸与館は、6館。								
【定量的評価】項目	28年度実績	目標値	評価	経年変化	24	25	26	27
援助・助言等の件数	120件	-	-		85	114	119	139
【年度計画に対する総合評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 公私立博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等に対し、117件の援助・助言を行った。また、新規貸与館に対する環境調査を6館に対して行った。いずれも内容・質ともに適切に実施し、年度計画を順調に達成することができた。							
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、博物館関係者の情報交換・人的・文化財等防災ネットワークの形成等に努める。								
【中期計画に対する評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 中期計画期間の初年度として、国内外の博物館等からの要請に応じて、適切に専門的・技術的な援助・助言を行うことができた。29年度以降も引き続き、可能な限り国内外の博物館等からの要請に積極的に応じていきたい。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信								
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等								
【年度計画】 (4館共通) 1) 公私立の博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を行う。									
担当部課	学芸部	事業責任者	学芸部長 山本英男						
【実績・成果】 1) 公私立の博物館・美術館が開催する展覧会及び運営に対し、112件の援助・助言を行った。 ・文化財の展示にかかる援助・助言(17件) ・文化財の調査、保存、修理に関する指導・助言(25件) ・講演会、セミナー等での協力(36件) ・文化庁や地方公共団体、その他各種団体等の文化財関係事業への協力(34件)									
【補足事項】 1) 文化財の展示にかかる援助・助言 ・「博物館でお花見を」桜セミナー及び教育関連展示作業 ・海外展「醍醐寺展」の展示及び撤収作業 ・海外展「日本仏像展」開催に伴う会場運營業務 ・「大妖怪展」に関する展示作業及び撤収業務 など 文化財の調査、保存、修理に関する指導・助言 ・愛知県史編さんに伴う作品調査 ・野崎家塩業歴史館所蔵漆工品に関する作品調査 ・明和町指定文化財(仏通禅師所用法衣並びに什物)の調査 など 講演会、セミナー等での協力 ・岐阜県「美濃桃山陶と無形文化財」講演 ・児童対象ワークショップにおける水墨画について解説 ・仁和寺所蔵の文化財調査 ・第81回装道大学講座 講師 など 文化庁や地方公共団体、その他各種団体等の文化財関係事業への協力 ・越前市文化財保護委員会委員として助言 ・滋賀県文化財保護審議会委員として助言 ・文化庁企画選定委員として助言 など									
【定量的評価】項目		28年度実績	目標値	評定	経年変化	24	25	26	27
援助・助言等の件数		112件	-	-		65	43	29	65
【年度計画に対する総合評価】 評定：B		【判定根拠、課題と対応】 援助・助言の件数、岐阜県「美濃桃山陶と無形文化財」講演や児童対象ワークショップにおける水墨画について解説等、内容、件数とともに十分な実績をあげることができた。							
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、博物館関係者の情報交換・人的・文化財等防災ネットワークの形成等に努める。									
【中期計画に対する評価】 評定：B		【判定根拠、課題と対応】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、博物館関係者の情報交換・人的・文化財等防災ネットワークの形成等に努めた。 来年度以降についても、各機関からの要請に応じ、専門的・技術的な面で支援し、また、文化財等防災ネットワークの形成も強化する予定である。							



愛知県史編さん事業に伴う所蔵作品調査

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等

【年度計画】
(4館共通)
1) 公私立の博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を行う。

担当部課	学芸部	事業責任者	部長 内藤 栄
-------------	-----	--------------	---------

【実績・成果】
(4館共通)
1) 公私立の博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言は、62件を数えた。

【補足事項】
(4館共通)
1)

- ・ 展示や文化財調査、保存修理などに関わる学術的な立場からの援助・助言 (35件)
 - ① 展示への援助としては、文化庁が主催する28年度の日本古美術海外展のために研究員1名をイタリアへ19日間派遣し展示指導に当たったほか、山形県遊佐町における当館所蔵品の展示のため研究員1名を派遣したことがあった。
 - ② 文化財調査、保存修理などについては、東大寺や仁和寺における文化財調査への参加、唐招提寺・伊豆山神社・知恩院などでの収蔵施設の環境に関する助言などがあった。
 - ③ 講演等による援助として、奈良県東京事務所が開催した仏像写真ワークショップに講師を派遣するなどした。
- ・ 行政への援助・助言は、「東アジア文化都市2016奈良市」実行委員会への出席など (4件)
- ・ 公私立博物館等の各種委員への就任は、松伯美術館 (奈良市) の理事など (21件)
- ・ その他の依頼事項への対応 (2件)



〈挿図〉杉沢土偶里帰り特別展示
(遊佐町防災センター) 案内チラシ

【定量的評価】項目	28年度実績	目標値	評価	経年変化	24	25	26	27
援助・助言等の件数	62件	-	-		67	71	58	58

<p>【年度計画に対する総合評価】 評価：B</p>	<p>【判定根拠、課題と対応】 公私立の博物館等が開催する展覧会への技術的・学術的な指導、および博物館等の運営への助言を実施したほか、博物館以外の文化財所蔵機関への助言も積極的に実施することができた。定量的項目の数値が大幅な増減をしていないので、左の評価とする。今後も公私立博物館等への援助・助言は継続していく。</p>
---------------------------------------	---

【中期計画記載事項】
国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、博物館関係者の情報交換・人的・文化財等防災ネットワークの形成等に努める。

<p>【中期計画に対する評価】 評価：B</p>	<p>【判定根拠、課題と対応】 公立・私立の別や規模の大小を問わず、国内の数多く機関への援助・助言を実施できている。また28年度は海外からの要請を受けて展示指導に当たることもできた。これは情報交換の推進、人的ネットワーク形成の観点からも評価できるが、今後はさらに件数の増加に努める。</p>
-------------------------------------	--

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】 (4館共通) 1) 公私立の博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を行う。 (九州国立博物館) 1) 地域の自治体と連携し、公私立博物館・美術館等職員のための古文書保存に関する専門講座を開催する。 2) 公私立博物館・美術館等職員・ボランティア等のためのIPM(総合的有害生物管理)に関する専門講座を開催する。								
担当部課	学芸部	事業責任者	部長 小泉 惠英					
【実績・成果】 (4館共通) 1) ・公私立博物館等で開催された研究集会及び講演会において指導・助言を行った。(10件) ・文化財の調査にかかる援助、助言(22件) ・文化財の保存修理にかかる援助、助言(13件) ・作品の展示及び運営等についての指導、助言(29件) ・講演会、セミナー等における公演(13件) (九州国立博物館) 1) 古文書保存基礎講座を開催した。 2) IPMセミナー、IPM研修及びIPMコーディネータ研修を開催した。 IPMセミナーでは、園田直子氏(国立民族学博物館)から「パリ国際IPMコンファレンス2016」の報告があり、またTom Strang氏(カナダ保存研究所)からは、「スミソニアン自然誌博物館における動物標本類の目視調査プログラム」についての講演があった。その他、当館で活動しているボランティア環境部会からの報告など、国内の状況のみならず世界の最新のIPMの動向についての専門講座を開催した。								
【補足事項】 1) 古文書保存基礎講座を開催した。 会場：九州国立博物館、筑紫野市歴史博物館 日程：29年1月27日、28日 参加人数：23人 2) ・IPMセミナーを開催した。 会場：九州国立博物館 日程：10月26日 参加人数：約140人 ・IPM研修を実施した。 会場：九州国立博物館 日程：10月27日、28日 受講人数：32人 ・(公財)文化財虫菌害研究所と共催で、IPMコーディネータ研修を実施した。 会場：九州国立博物館 日程：12月14日～16日 受講人数：66人								
								
10月26日開催IPMセミナーの様子								
【定量的評価】 項目	28年度実績	目標値	評価	経年変化	24	25	26	27
援助・助言等の件数	87件	-	-		109	64	57	67
【年度計画に対する総合評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 九州地域の中核館としての役割を果たしつつ、当館の特色である文化財修理やIPMの普及啓発事業を計画通りに行った。							
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、博物館関係者の情報交換・人的・文化財等防災ネットワークの形成等に努める。								
【中期計画に対する評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 中期計画にしたがい、当館研究員の専門性を活かし国内外の博物館等からの要請に応じて指導、助言を行うとともに、研修会を開催するなど、地域の核としての博物館の役割を果たしている。							